

Ⅰ 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・栽培活動では、継続的に観察し、観察の視点を示すことで、気付きのポイントを捉えることができた。
- ・振り返り活動を十分にとり、体験したことを言葉や絵で表す表現活動を行うことで、自分の成長や、友達との関わりの良さに気付くことができた。
- ・他学年や地域の方等、自分や身の回りにいる人と関わる活動を通して、自分や友達のよさに気づき、すすんで人と関わる態度や、周りの人への感謝の気持ちを養うことができた。
- ・一人一人が、植物を育てたり虫捕りに行ったりして、観察をし、生き物と触れ合う経験を多く設定した。また、作った野菜を収穫し、収穫した喜びをみんなで分かち合うような活動を取り入れ、全ての児童が豊富な経験を得られることができた。

(2) 課題

- ・個人で学習をする際、観察や学習のポイントがずれてしまう児童が見られる。
- ・グループでの活動や全体で交流をする場では、自分の気づきや考えを友達に伝えるのみにってしまう場面が見られる。友達の気づきと比べながら聞くことをとおして、自分の考えを広めたり、深めたりすること点には、課題がある。
- ・多くの児童が学級や学年、異学年の児童との交流など、人との関わり合いを通して、身近な人や社会とかかわる楽しさを実感することができたが、他者とのコミュニケーションを苦手としている児童もいる。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・自分の成長や、友達とのかかわりの良さに気付くために、カードや表現活動を通して振り返り活動を充分に行い、児童が実感できるようにする。 ・毎時間、活動や学習のゴールをしっかり確認し、授業のねらいがずれないようにする。 ・みんなで遊ぶ活動を通して、工夫して遊ぶ楽しさ、面白さ、自然の不思議さに気付けるようにする。	・これまでの生活経験を想起させたり、身の回りにあるものに目を向けさせたりすることで、自分なりの工夫やできることを考えたり、友達の考えを聞きながら、新たに考えを取り入れたりできるようにする。 ・町探検では、インタビューをしたり、見学をしたりし、仕事をしている人の努力や苦勞、思いなどに気付くことができるようにする。また、町探検でお世話になった人への感謝の気持ちを伝え、地域へ愛着をもてるような活動を設定する。	・自分や身の回りにいる人と関わる活動を通して、自分や友達の良さに気付かせ、すすんで人と関わる態度や、周りの人への感謝の気持ちを養うことができるようにする。 ・生活経験には個人差があるため、他者との関わりや友達同士との伝え合い等、学び合い分かち合う活動を取り入れていく。